

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

東証が企業統治指針に知財を盛り込んだ理由

1. 日本製鉄とトヨタ自動車が争うのも知財なら、アップルの時価総額を倍増させているのも知財。知的財産（知財）は守るべき財であると同時に、攻めるための武器でもある。投資家による企業評価でも知財戦略が重視される今、経営者や知財担当者には何が求められているのか。
2. 2021年6月、上場企業に求められる企業統治の原則であるコーポレートガバナンス・コードを、東京証券取引所が改訂した。改訂の中に、取締役会が監督し、適切に開示すべき対象に追加された項目がある。「知的財産への投資」だ。正林国際特許商標事務所の所長で弁理士の正林真之氏は次のように解説する。「米アップルの時価総額は今や280兆円に達しており、日本の21年度国家予算である106兆円の2倍を優に超えています。しかし、PER（株価収益率。時価総額が当期利益の何倍かを示す指標）は20倍で、20年の利益が7兆円だったアップルにこの数字を適用すると、時価総額は140兆円にしかありません。にもかかわらず、アップルの企業価値はなぜ、その2倍にも膨らんでいるのか。その答えは知財です。
3. 特許や商標といった狭義の知財に加え、イメージや評判といった広義の知財まで含めたアップルの知的財産が、それだけ高く投資家から評価されているというのだ。だが、多くの日本企業は、ソニーなど一部の例外を除き、これまで知財を十分にアピールし、活用してきたとは言い難い。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2021年12月25日・2022年1月1日号)

経営者のための理念・哲学

実行こそ人生のすべて（平澤興）

1. 「百万の典経、口下の燈」一百万の経典を読んでも実行しなければ、お日さまの下で、ローソクを灯すようなもの、何の価値もない、の意。明治8年から25年まで鎌倉円覚寺の管長を務めた今北洪川の言葉である。洪川の人柄と禅風を慕い、山岡鉄舟もそのもとに参禅している。
2. 「古の道を聞いても唱えてもわが行いにせざば甲斐なし」と詠んだのは島津日新公である。昔の立派な教えを聞いても、また口で唱えても、実行しなければ何の値打ちもない、という和歌である。他に、(1)「実行の伴わない限り、いかなる名論卓説も画いた餅にひとしい」（森信三）(2)「今日一日の実行こそが人生のすべてである」「人生は夢と祈りと実行以外にはない」（平澤興）がある。

(参考:「致知」:2022年2月号)

ワンポイント経営アドバイス

世界に広がる人材獲得競争（株式報酬）

1. 今、日本企業の間で株式報酬への注目が高まっている。日産自動車は21年3月期、役員らを対象に「譲渡制限付株式ユニット（RSU）」を導入した。勤務継続など一定の条件を満たした場合に、事後的に株式を付与する仕組みだ。半導体大手のルネサスエレクトロニクスも「国籍や経験など多様性に富んだ優秀な人材」を集めるために取り入れた。
2. 株式報酬なら人件費の増大を抑えつつキャピタルゲインの形で働き手に報いることができる。19年に米巨大ITアップルの従業員が受け取った株式報酬は、当時の株価に基づく金額換算で1人約600万円。これが通常の給与に上乗せされて従業員の懐に入った。株価が上がればキャピタルゲインはもっと膨らむ。高水準の報酬がイノベーションを支える。

(参考:「日経ビジネス」2021年12月20日号)

古典に学ぶ

模倣時代に別れよ

(解説) 外国の「レッテル」が貼ってあるからこの石けんはよいぞと威かされたり、外国品だからこの「ウイスキー」を飲まなければ、時勢後れの人間に見られると怖れるようで、それで独立国の権威と大国民の襟度がどうして保たれて行われよう。私は実に国民の大自覚を望むのである。我々は今日ただいま、心酔の時代と袂別せねばならぬ。模倣の時代から去って、自発自得の域に入らねばならぬ。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)